

RACE REPORT



**SUPER
FORMULA**

Round.08 **SUGO**

第8戦 スポーツランド SUGO

2026 年 8 月 8 日 (土)

予選

天候：曇り～晴れ 路面：ドライ

#38 阪口 晴南

予選 10 番手

#39 大湯 都史樹

予選 11 番手

7 月 17 日 (金) ～ 19 日 (日) に富士スピードウェイで行われた第 4 大会から 3 週間。2026 年の全日本スーパーフォーミュラ選手権は宮城県のスポートランド SUGO に舞台を移し、第 5 大会を迎えた。前大会は 3 レース制で非常にハードなスケジュールだったが、この SUGO 大会は

1 レース制。8 月 8 日 (土) ～ 9 日 (日) の 2 日間で争われる。富士大会では 2 台ともに多くの課題と手ごたえを得ていた SANKI VERTEX PARTNERS CERUMO・INGING は、タイトなスポーツランド SUGO 行われる第 8 戦での好結果を目指し、まずは予選上位を得るべく走行に臨んだ。

PRACTICE フリー走行

8 月 8 日 (土) 9:00 ～ 11:18 天候：晴れ 路面：ドライ
ベストタイム #38 阪口晴南 1'06.056 / #39 大湯都史樹 1'06.236

レースウィーク前までは気温も比較的低めだったというスポーツランド SUGO だったが、搬入日の 8 月 7 日 (金) から非常に蒸し暑く、予選日となった 8 月 8 日 (土) の SUGO も晴天。朝からグングン気温が上昇し、午前 9 時から始まったフリー走行は、気温 28 度／路面温度 35 度という暑さで始まった。セッション中にもグングンと気温は上がり、終盤には気温 34 度／路面温度 53 度まで上がっている。

そんなフリー走行では、阪口、大湯ともにピットアウト～インを繰り返し、セットアップを確認していった。途中大きなアクシデントはないまま進んだが、午前 10 時 20 分のグループ分け走行終了直前に、#3 ルーク・ブラウニングが SP コーナーでコースオフ。一度赤旗が提示された。

その後、午前 10 時 30 分から行われたグループ分け A 組の走行には大湯が出走した。「最後はまとめられましたが、あまり良くない手ごたえでしたね」というフィーリングの大湯は、ニュータイヤを履き予選シミュレーションを行っていくが、途中 #10 Juju のストップで赤旗中断に。組分けフリー走行は残り 3 分で再開されたが、ここで大湯は 1 コーナーでコースオフを喫してしまい、タイムを伸ばせず 1 分 06 秒 236 というベストタイムで、11 番手となった。

続く B グループには阪口が出走したが、今度はアタック直前のタイミングで、#6 太田格之進がレインボーコーナーでコースアウト。同様に赤旗後の残り 3 分で再開されると、阪口は 1 分 06 秒 056 までタイムを縮め、8 番手でフリー走行を終えた。「ランプランもこなせましたし、悪くない感触です」と阪口は好調さを感じさせた。

午後の公式予選までに天候、コンディションとも変わることも予想されるなか、SANKI VERTEX PARTNERS CERUMO・INGING は、午後の予選へ向け準備を進めた。



QUALIFY 公式予選

8月8日(土) 14:20 ~ 15:22 天候:曇り 路面:ドライ
ベストタイム #38 阪口晴南 1'05.389 / #39 大湯都史樹 1'05.402

午前のフリー走行は日射しも強く、うだるような暑さとなっていたスポーツランド SUGO だが、午後2時20分から行われる公式予選を前に分厚い雲が近づき、遠くには雷鳴も響くコンディションとなった。幸い雨の心配はなさそうだったが、気温29度／路面温度43度と、公式予選Q1はフリー走行終盤に比べやや涼しい状況で迎えた。

このスポーツランド SUGO は非常にタイトなコースであり、オーバーテイクもしづらい。予選順位は重要となる。SANKI VERTEX PARTNERS CERUMO・INGING は「予選に対して、クルマとしてももう少しやれるところもあったので、2台でのデータを共有している中での良いところを合わせ込んでいきました」と大湯が語るとおり、2台の力を合わせ、上位進出を目指した。

今回は第3戦オートポリス以来となるQ3まで設定された予選となっていたが、まずはQ2に進出するべく、Q1のA組に出走したのは大湯。コースイン後一度ピットに戻り、ニュータイヤを履き再度コースインすると、ウォームアップ2周を使いアタックを展開。1分05秒647というタイムでA組の2番手につけ、まずはQ2進出を果たした。

続くB組に出走したのは阪口。「SUGO は予選が本当に大事です」とひとときグリッドの重要性を語っていた阪口は、大湯同様一度ピットインした後、再度コースへ。ここで阪口はチェッカー後にひとつポジションを落としたものの、1分05秒535までタイムを伸ばし、3番手へ。SANKI VERTEX PARTNERS CERUMO・INGING は2台がともにQ2に進出することになった。

公式予選Q1の後、スポーツランド SUGO 上空はさらに雲の厚さが増し、気温も一気に下がるなかで午後2時55分からQ2がスタートした。SANKI VERTEX PARTNERS

CERUMO・INGING の阪口と大湯は、予選Q3に進出することができず、予選Q2に臨んだ。コースオープン後、他車が一度ピットに戻ったのに対し、2台はともに1周をこなしピットへ。ふたたびニュータイヤを履き、再度コースインしアタックを仕掛けていった。

チェッカーに向けて続々とタイムが記録されていくなか、阪口は1分05秒389、大湯は1分05秒402というタイムをマークしたものの、このQ2はスーパーフォーミュラらしい超僅差の争いに。阪口は10番手、大湯は11番手という順位となった。阪口についてはQ3進出まで0.084秒という差だっただけに、悔しさも募る結果となった。

フィーリングとしてはQ3進出、さらに予選上位グリッドも十分に可能だったが、これがスーパーフォーミュラの難しさ。チームが望んだ結果ではなかったが、SANKI VERTEX PARTNERS CERUMO・INGING は、翌日の決勝レースでの挽回を目指していく。



COMMENTS

ドライバー／監督コメント



38 阪口 晴南 SENA SAKAGUCHI

「39号車とともにQ1では上位だったので、Q3にいけるかと思っていたので悔しいです。もう少しアドバンテージをもった状態でアタックにいかねばいけなかったのかもしれませんが。ただ、もちろんあの順位なので、クルマとして大きく外しているわけではないですし、午前から午後に向けても想像の範囲内での調整をすることができました。GR勢のトップはタイムとして見えていたので、それを詰めるための微調整が必要だったと思います。決勝レースに向けては、コンディションが安定したらオーソドックスな選択肢をとらざるを得ないと思います。上位陣に対してどれくらいペースがあるのかを楽しみにしつつ、入賞、表彰台を目指していきたいです」



39 大湯 都史樹 TOSHIKI OYU

「フリー走行では最後にクルマをまとめることができましたが、予選に向けた細かい部分を2台で合わせ込み予選Q1に臨みました。その甲斐もあってQ1は上位につけられましたし、2台のうち僕は特に良い手ごたえがありました。Q3に進出できる感覚はあったのですが、本当にスーパーフォーミュラはシビアですね。Q2でのセット変更が少し攻め切れていなかったような感触もありますし、変更した部分で悪いところもありました。決勝レースに向けて、SUGOでは上位に行くために少し大変な位置になってしまいましたが、11番手という位置からでも何が得るものがあるのではないかと思います。それをしっかり見つけられるようにしたいですね」



立川 祐路 監督 YUJI TACHIKAWA

「フリー走行から2台ともに感触は悪くなく、予選Q1では阪口選手、大湯選手とも良い位置につけていたので、Q2での結果10番手、11番手という位置になってしまったのは予想外でした。その点は残念でしたね。すごく僅差で、0.1秒速ければQ3にも進出できたのですが、それがSUGOですし、そのための詰めが足りなかったということですね。明日は中団からのスタートになりますが、今のスーパーフォーミュラはペースが良ければ抜いていくことができるので、決勝で速いクルマを作ることができるよう準備をしたいと思います。仙台は七夕まつりが行われているので、明日はしっかり追い上げられるよう、短冊に願いを書いておこうと思っています」



RACE REPORT

RESULT リザルト

第 8 戦スポーツランド SUGO 予選結果

Pos.	No.	Driver	Car	Engine	Q1	Q2	Q3
1	16	野尻智紀	AUTOBACS MUGEN SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	1'05.412	1'05.226	1'04.864
2	6	太田格之進	DOCOMO DANDELION M6Y SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	1'05.354	1'04.994	1'04.896
3	65	I. オオムラ・フラガ	PONOS NAKAJIMA RACING SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	1'05.625	1'05.196	1'05.137
4	5	牧野任祐	DOCOMO DANDELION M5S SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	1'05.625	1'05.305	1'05.150
5	36	坪井翔	VANTELIN TOM'S SF23	TOYOTA/TRD 01F	1'05.621	1'05.231	1'05.250
6	28	小林利徳斗	KDDI TGMGP TGR-DC SF23	TOYOTA/TRD 01F	1'05.829	1'05.308	
7	14	福住仁嶺	NTT docomo Business ROOKIE SF23	TOYOTA/TRD 01F	1'05.708	1'05.315	
8	50	野村勇斗	San-Ei Gen with B-Max SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	1'05.765	1'05.332	
9	1	岩佐歩夢	AUTOBACS MUGEN SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	1'05.698	1'05.348	
10	38	阪口晴南	SANKI VERTEX CERUMOINGING SF23	TOYOTA/TRD 01F	1'05.535	1'05.389	
11	39	大湯都史樹	SANKI VERTEX CERUMOINGING SF23	TOYOTA/TRD 01F	1'05.647	1'05.402	
12	19	Z. オサリバン	WECARS IMPUL with SDG SF23	TOYOTA/TRD 01F	1'05.656	1'05.651	
13	53	C. ブルツ	TEAM GOH SF23	TOYOTA/TRD 01F	1'05.996		
14	64	佐藤蓮	PONOS NAKAJIMA RACING SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	1'05.866		
15	97	R. スタネック	ナビクル Buzz MK SF23	TOYOTA/TRD 01F	1'06.000		
16	37	S. フェネストラズ	VANTELIN TOM'S SF23	TOYOTA/TRD 01F	1'05.924		
17	9	G. アレジ	KCMG Elyse SF23	TOYOTA/TRD 01F	1'06.286		
18	8	山下健太	KCMG Cayman SF23	TOYOTA/TRD 01F	1'06.035		
19	12	小出峻	ThreeBond SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	1'06.363		
20	22	松下信治	DELIGHTWORKS SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	1'06.195		
21	3	L. ブラウニング	REALIZE Corporation KONDO SF23	TOYOTA/TRD 01F	1'06.417		
22	4	笹原右京	REALIZE Corporation KONDO SF23	TOYOTA/TRD 01F	1'06.691		
23	10	Juju	HAZAMA ANDO Triple Tree SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	1'07.359		
以上予選通過							
	7	小林可夢偉	KDDI TGMGP TGR-DC SF23	TOYOTA/TRD 01F	1'14.223		